

登録コード	T5019110		開講年度	2026			
授業科目	設計基礎（16T以降）					担当教員	松田 昌洋
英文授業名	Basic Architectural Drawing 1					副担当	高村 秀紀・寺内 美紀子・梅干野 成央・諏訪田 晴彦・佐倉 弘祐
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時間	集中・不定期		対象学生
講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標		【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
		2 5 Tカリ，2 3 Tカリ					
		【22T～】共通教育による幅広い教養と，工学の専門分野における基礎学力が身についている。				設計製図の基礎が身に付いている。	
(2)授業で学べる「テーマ」		芸術文化					
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要		設計に必要なとされる製図道具の使い方を基礎的な演習を通じて修得する。さらに、平面図・立面図・断面図を用いて 3 次元空間を平面に、平面から立体図を描画する手法を学ぶ。 なお、毎回の授業では、各々のテーマに即して解説を行うとともに、これに関連した練習を行う。					
(5)授業計画		第1回 基準線・中心線・グリッド 第2回 平面図 第3回 立面図、断面図 第4回 アイソメ、アクソメ 第5回 パース（1点透視図法） 第6回 パース（2点透視図法） 第7回 プレゼンテーション、夏休みの課題説明（授業アンケートへの回答を含む）					
(6)成績評価の方法		講義時間中に作成する課題で評価します。基本的に90-100点を秀、80-89点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。なお、評価を受けるには、全ての課題の提出を必要とする。					
(7)成績評価の基準		(1)課題が完成しており、(2)線種を使い分け、(3)レイアウトに配慮し、(4)汚れなどがなくきれいに仕上げ、(5)全体的に教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。4項目までできていれば「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」、2項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容		毎回の授業の最後に、次の回につながる課題を出す。次の回には、この課題に対する理解度や達成度を確認する。					
(9)履修上の注意		講義では製図道具を使用する。詳細については、事前に案内する。					
(10)質問,相談への対応		講義時間の前後に受付ける。また、メールでも受け付ける。 令和 8 年度 1 年生担任（松田）：mat@shinshu-u.ac.jp					
(11)その他		本講義はアクティブ・ラーニングによる学習法が含まれており、学修者の能動的学修により、教養や知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。					
【教科書】		櫻井良明：改訂版 建築製図 基本の基本、学芸出版社、2023 3520円					
【参考書】		近江栄ほか『建築図学概論 改訂増補版』（彰国社、1991年） 松下希和ほか『やさしく学ぶ建築製図』（エクスナレッジムック、2011年）					